丹高ニュース

№5

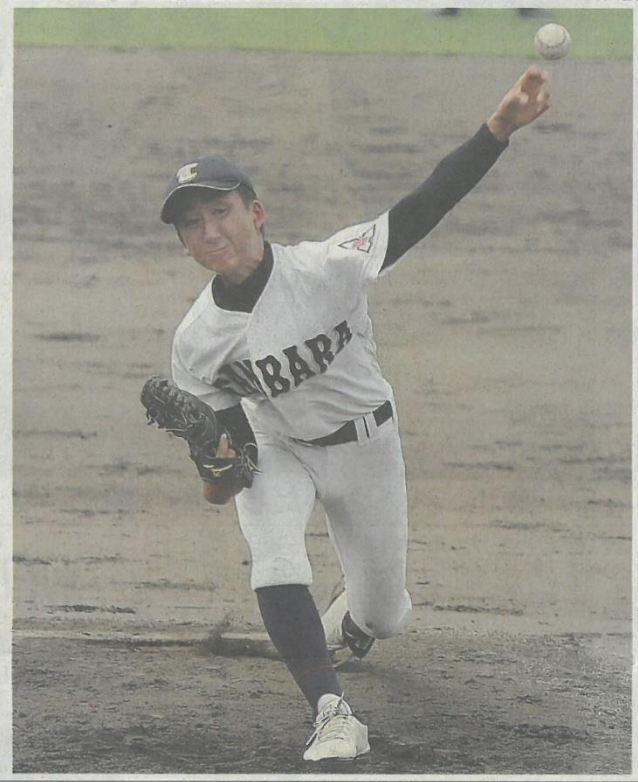
令和4年7月12日（火）

～　豊かな学びの実現　～

高校野球選手権愛媛大会2回戦

丹原左腕 1失点完投

新居浜商 守備奮闘も涙



【丹原―新居浜商】新居浜商打線を1失点に抑えて完投した丹原・野口＝西条ひうち球場（撮影・末光徹）

▽2回戦（9時58分）

丹原	0	0	0	3	0	1	2	0	1	7
新居浜商	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

▽本塁打　伊東
▽三塁打　伊東▽二塁打　佐伯陽
▽犠打　丹7（黒河、伊東、平塚3、田中、佐伯陽）新0▽盗塁　丹0、新0▽失策　丹1（木原）
新2（沖村、三好）▽捕逸　伊藤
▽球数　野口110、川人135
▽審判　球審　横井▽塁審　青野、月原、志尾
▽試合時間　2時間0分

【評】丹原は守りでリズムをつくり快勝した。先発野口は球を低めに集めて1失点完投。バックも堅実な動きでカバーした。打線は緩い球を逆らわずに打ち返した。四回に3点を先行し、以降も犠打を絡めて加点した。

新居浜商は4点を追う六回に沖村の適時打で一矢報いた。守りは2併殺を奪うなど奮闘したが及ばなかった。

球を低めに集めた

丹原・野口（2年生左腕。1失点完投）「緊張していたけど、初回を抑えてきょうは調子が良いと感じた。持ち味の制球力で球を低めに集めることができた。頼もしい先輩たちと長く野球ができる良い投球だった」

打線ノーチャンス

新居浜商・三好（主将。悔しい初戦敗退）「緩い変化球を緩く振ってフライにしてしまった。ノーチャンスだった。（失点は）ほとんどが打たれた結果で、自分たちの力のせい。後輩には来年まず初戦を突破してほしい」

【丹　原】

		打	安	点	振	球
⑧	黒河	4	1	0	0	0
④	木原	5	3	0	0	1
⑥	小林	4	0	0	0	1
②	伊東	2	2	1	0	2
⑨	平塚	2	2	2	3	0
⑤	田中	4	1	1	0	0
⑦	佐伯陽	4	2	1	0	0
③	能智	4	0	0	0	1
①	野口	4	1	0	2	0
犠	盗	失	併	残		
7	0	1	0	10	3	3
12	6	3	4			

【新　商】

		打	安	点	振	球
⑤	白石	4	1	0	1	0
③	受川	4	2	0	0	0
⑥	沖村	4	1	1	0	0
②	伊藤	3	0	0	1	1
④	三好	4	0	0	1	0
⑦	坂本	4	1	0	0	0
①	川人	4	0	0	0	0
⑨	高木	3	0	0	0	0
⑧	小川	3	0	0	1	0
犠	盗	失	併	残		
0	0	2	2	6	3	3
5	1	4	1			

	手	回	打	安	振	球	責
投野口	9		34	5	4	1	1
川人	9		44	12	3	4	5

頑張れ、丹高！

投・攻・守ともよく、勝利！

選手は健闘しました。3回戦も応援をお願いします。

令和４年７月12日（火）付け愛媛新聞
（掲載許可番号d20220712-02）